

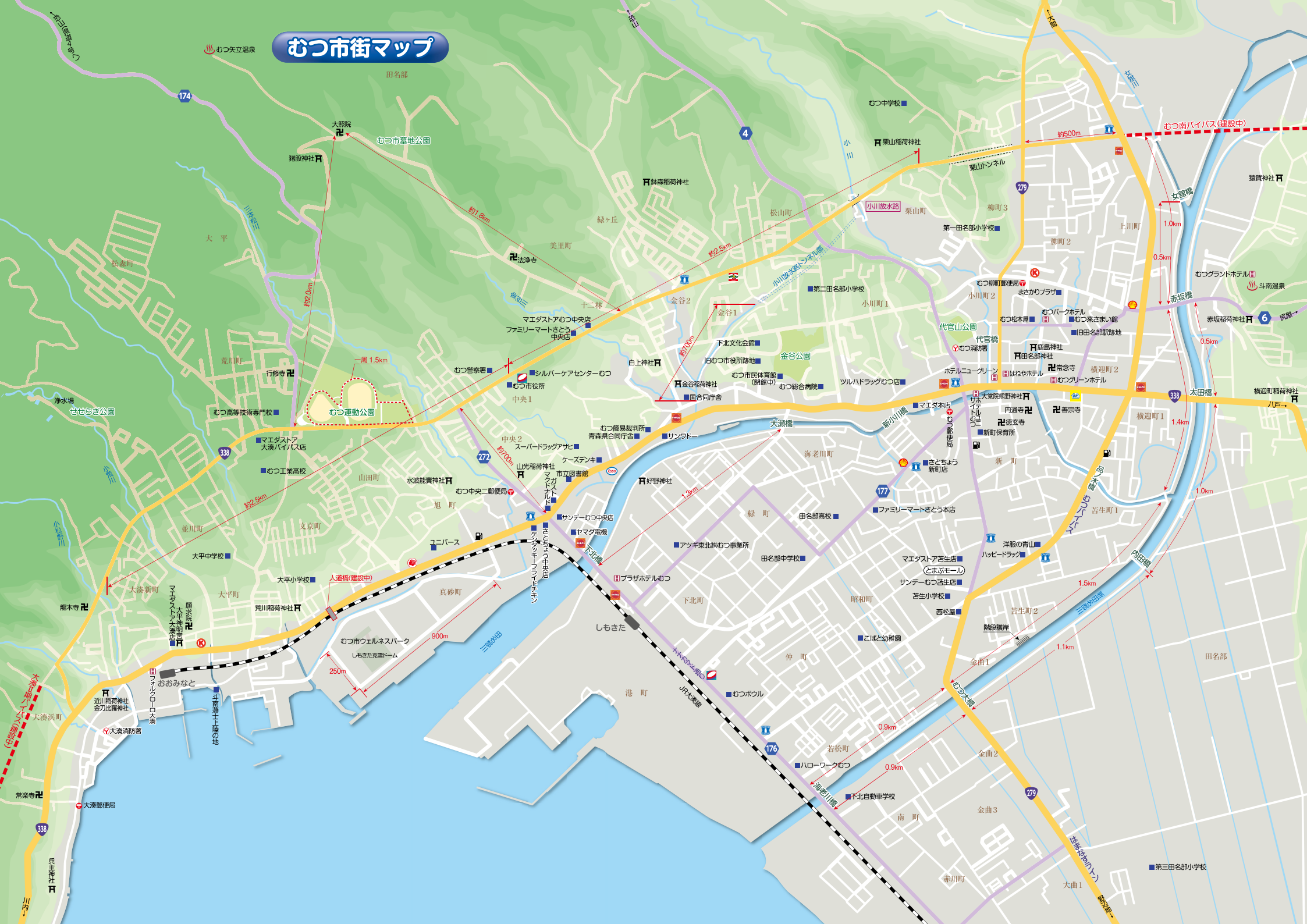
下北健康なまちづくり ウォーキング&ジョギング むつ市街フィールドマップ



むつ市街マップ



むつ市街マップ



1 田名部市街エリア

① 田名部神社



勧請の年代はつまびらかでないが、康永四年(1345)の銘がいった麓口(神社・仏閣の堂前につるした布の綱を引いて打ち鳴らす金属製の貝)が残されていたと伝えられている。明治6年、田名部館跡にあった八幡宮に合祀されたが、いくらか経たずに現在地に復し、明治9年に田名部神社と名を改めた。

8月18～20日に行われる田名部祭りは下北一の祭り。20日の神輿渡御行列には、横道町の稲荷山、小川町(こがわまち)の望々山(しょうじょうやま)、坂町の大黒山、本町の野々山(ののやま)の香峯峯(こうほう)と、五つの町内の山車が続き、深夜11時過ぎの五社分かれて終了する。

② 常念寺



浄土宗、山号は不退山。慶長元年(1596)の草創といわれ、磐城の寺称寺(磐城泉いづき市)八世・良裕の法子・部山の閑山と伝わる。部山は良翁と号し、この人が江戸の町から移したともいわれている。延享3年(1795)、田名部の大火で焼失し、延享6年に即世良法有海が火災して、貞享3年(1686)になって再建が完成した。寛永9年(1632)、南部2代重直が田名部巡幸のとき御飯屋にあてられた。また、安永9年(1780)には、恐山支配をめぐって円通寺と争った鐘花寺を預かっている。

本尊の阿弥陀如来座像は、国の重要文化財指定を受けている。ほかに、円空の作という観世音菩薩像がある。

③ 大覚院熊野神社

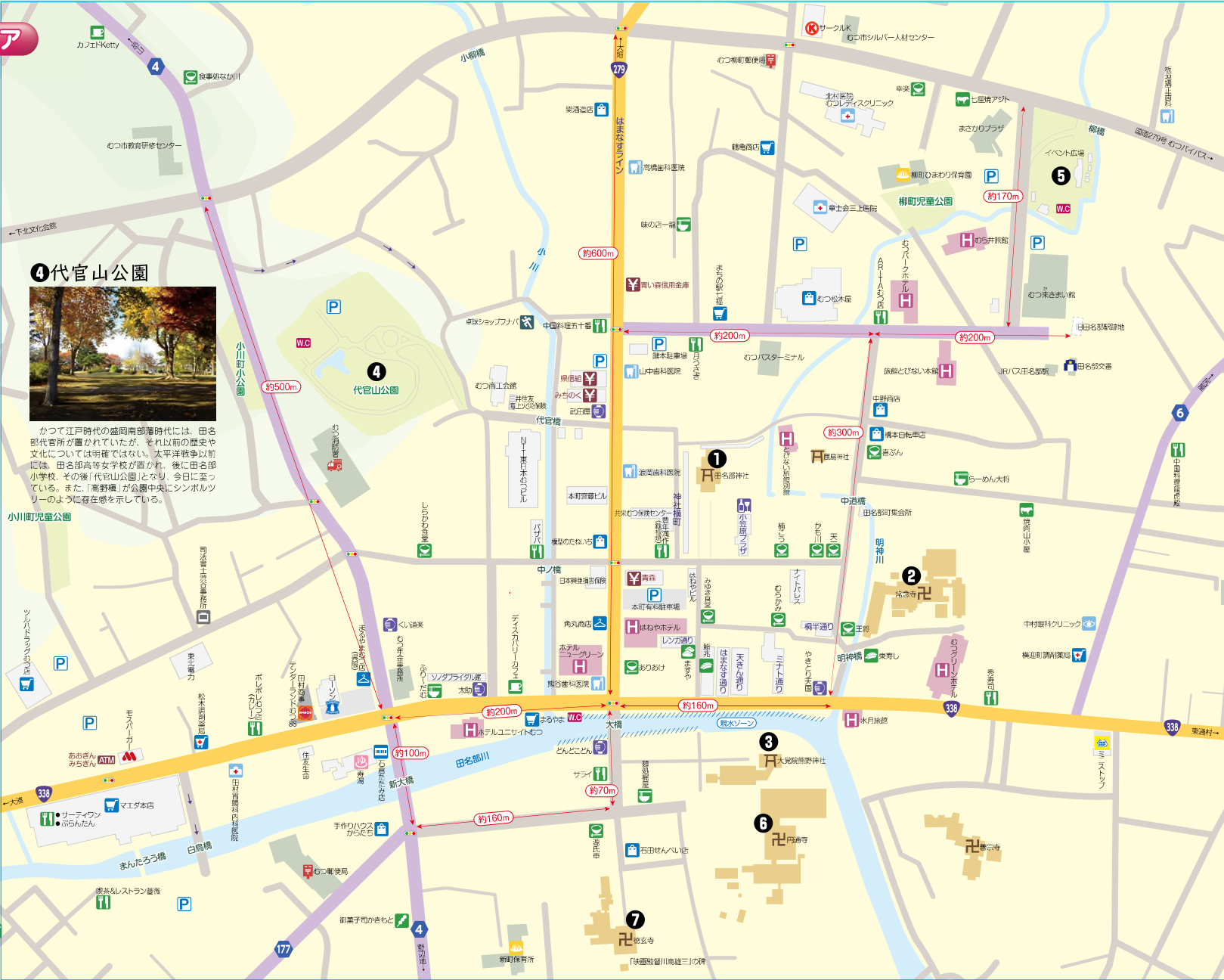


大覚院の祖先は肥前出身の大宝院真如坊で、大永4年(1524)来村し、釜山山嶽大明神を管掌することになった。

観音像は、現在の大覚院境内の川沿いに鎮座した薬師堂に安置されていたらしいが、この馬頭観音は伏せに御利益のある観音で、のちに隣接する円通寺慈眼堂に移された。また大覚院の神説には、16番札所の十一面観音が御神体として祀られている。33観音巡礼、29番札所。



大覚院熊野神社からの景色(北ノ川方面)



大覚院熊野神社からの景色(赤テルニューグリーン方面)



新小川橋



白鳥橋



代官橋



大橋



映画監督川島雄三の碑(徳玄寺)



むつ来さいい館

⑤ イベント広場



屋外多目的イベント広場で、陸奥湾特産のほたてをモチーフとしたオープン構造となっている。幅15メートル、奥行4メートルのステージもあり、各種集会・イベント等に利用できる。

イベント広場の向かいにはレストランや土産物店のある「むつ下北観光物産館(まさかりプラザ)」隣には下北の観光・物産などの情報発信施設「むつ来さいい館」がある。

⑥ 円通寺



曹洞宗、山号は吉祥山。大永2年(1522)創建。下総聖(千葉聖)東昌寺の末寺として東昌寺三世寛永堂正の弟子・宏智宗賢(こうちじやうく)の熊山といわれる。開基の磐城南部氏は聚賢のすまけに従い、鎮時の乱を平定した十三代政経退避のため開建したともいわれる。

貞観四年(862)に藤原大膳開山の伝説が残る恐山は、円通寺開山の聚賢によって再興され恐山曹洞寺となり、地藏堂を含む恐山金山が円通寺の所管となった。元禄年間(1688～1704)、恐山はもともと天台宗のものとする田名部蓮花寺との間に、恐山支配をめぐっての争いが起こったが、安永9年(1780)、蓮花寺は常念寺にお預けとなり恐山の支配権は円通寺のものとなった。

寛政11年(1799)に十三世千明冠古が、恐山の権1559本をもらい受け、円通寺本堂と庫裡、山門を再建した。冠古は菅江貞澄(すがえすみ)と交遊し、よく俳諧を好んだ。なお享保11年(1726)、寺番五十石を受けている。明治四年の斗南遷移封のとき、藩主松平将光(まつひらひさみつ)から「はらう」の飯屋となった。本尊は釈迦牟尼で、本堂わきの慈眼堂に観世音菩薩が安置されている。

⑦ 徳玄寺



浄土宗大谷派。本尊は弥陀如来。文禄3年(1594)に加賀の磐保玄が石沢(三戸郡倉石村)に庵を立て、保玄没後、子の専受が寛永2年(1625)に田名部赤平に移して再興したといわれる。その後明暦年間(1655～58)に現在地に移ったとされる。

現在の本堂は安政3年(1856)の建立。境内にはむつ出身の映画監督川島雄三の碑があり、ほかに、明治の初め、庵寺となった蓮花寺から徳玄寺に移した芭蕉の句碑がある。

斗南遷移封時には斗南開発の廟として利用された。

2 むつ市役所・旧田名部川エリア

むつ市役所前の国道338号線には、市役所から大湊方向へ3.0km、栗山トンネル方向へ2.5kmの間に100mおきに距離標を設置している。

西へ約2.5km地点は小松野川橋付近で、歩くと約33分ほど。東へ約2.5km地点までは歩くと約31分。どちらも往復すると約1時間強の距離となっている。



8 むつ市役所



むつ市役所本庁舎は、以前金谷一丁目にあったが、3階建ての建物(1962年竣工)だったが、1968年の十勝沖地震で3階部分が破損して美観と耐震性で建て替えた。しかし、近年は耐震性に問題があったことから、中央一丁目の元ショッピングセンター跡地を取得して改装を行い、2009年9月24日に移転し、全国でも珍しいワンフロアの市役所となった。

また、敷地の一部を無償貸与してむつ警察署が移転し、2013年9月2日から業務を開始した。



念仏車の地名は、現在大湊にある常楽寺跡地にあったことや、その前に別の寺院があったことに由来するらしい。稲山への登山道の入口にあたる。

9 金谷公園

金谷公園はむつ総合病院の山手にある公園で、いくつかのゾーンに分けて整備されている。子供たちが遊べる冒険広場ゾーン、中央に位置する噴水をメインとするカナル広場ゾーン、桜を配した桜の広場ゾーンと、子供から大人まで多くの人々が楽しめる公園となっている。

10 下北駅

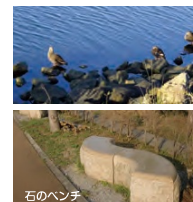
1939年、大湊線の開業とともにその分岐駅として設置された。大湊線は、1985年に下北交通に移管されたが、2001年に廃止された。駅前の県道272号線の沿道にはナナカマドが植樹され美しい通りとなっている。

田名部川遊歩道

田名部川は市街地でありながら自然環境を多く残す川で、遊歩道も整備され、ウォーキングやジョギングを楽しむことができる。

ギングロードとして市民に親しまれている。

大湊橋付近は、水際にヨシ等の湿性植物群落とヤサガ等の河群林が見られ、週末は水鳥などを観察することができる。



石のベンチ

下北橋から大湊橋までの1.3kmの遊歩道には太陽光発電照明付掲示板が設置されている。この「ふるさと掲示板」には地域の方々が掲示することができる。[連絡先]下北地域民局地域整備部 建設管理課 TEL(0175)22-1231



下北橋から大湊橋までの1.3kmの遊歩道には太陽光発電照明付掲示板が設置されている。この「ふるさと掲示板」には地域の方々が掲示することができる。[連絡先]下北地域民局地域整備部 建設管理課 TEL(0175)22-1231



下北地域民局展望



金谷橋



下北橋



大湊橋

